

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」新潟西校		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 49
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援の中で、お子さんの個性や特性、発達段階に合わせた支援を行っている。	お子さんの個性や特性、発達段階に合わせた支援を提供しています。また、個別支援のため、お子さんの興味関心に合わせた課題の提示も行っています。	職員全体で、よりよい支援を実施するため全体での情報共有を徹底していきます。必要に応じて研修への参加も実施します。
2	ご家庭との連携を行っている。	毎支援後に保護者の方とお子さんの様子を共有する時間を設けています。また、必要に応じて支援場面を見学していただいた上でお子さんへの対応を共有したり、事業所内での相談援助も実施しています。	継続して支援後の保護者の方のお話しの時間を設けていきます。事業所外でのお子さんの様子も細かくお伺いしたり、関わる関係機関との連携も深めていきます。
3	職員同士の連携を行っている。	お子さんと保護者の様子の共有や、関係機関からの情報提供に関する共有等を行っています。必要に応じて、ケース会議の実施もしています。	引き続き、職員同士での情報共有を確実にいきます。後から振り返れるように文面での保管等も検討します。支援内容の一貫性を保ちつつ、利用者さんが安心して通所できる環境作りを進めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設のバリアフリーの観点と一部老朽化に伴う施設内環境について。	玄関に段差があるなど、バリアフリーの観点で課題があります。また、施設内が一部老朽化していることもあり冷気が気になることがあります。	必要に応じて、簡易スロープの設置を検討します。エアコンやヒーターの設置等によって、快適な環境作りを目指します。
2	職員の人数に余剰がない。	基準配置は満たしているが、職員数に余裕がなく有休休暇の取得が難しいことがありました。また、利用者さんへ時間や曜日変更をお願いすることもありました。	他教室とも協力し、ヘルプ対応を行います。
3	SNSでの発信の頻度が少ない。	SNSでの情報発信の頻度に企てられる時間がありませんでした。Instagramへの投稿頻度について、ご意見をいただきました。	情報発信の頻度について、事業所内で話し合いを行います。また、職員誰でも情報発信が可能になるように研修も検討します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「きらり」新潟西校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

53

回収数

49

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	42	3	0	4	・体を動かすには少し狭く感じることもありますが、限られたスペースで気をつけながら活動する練習になっていると思う。 ・少し手狭な感じもしますが、活動には支障なさそうなので大丈夫ですが。 ・学習スペースの他に体を動かすことのできるスペースがあり、十分に確保されていると思う。	限られたスペースではありますが、パーテーション等を利用しながら活動スペースの確保に努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	46	1	0	2	・フィードバックをしていただく間、他の職員さんが子どもの相手をしてくれ助かる。	引き続き、保護者の方がフィードバックに集中できるように、可能な範囲での対応を行います。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	9	0	6	・子どもがすぐに生活環境や設備に慣れたので、構造化された環境になっていると思う。 ・玄関に大きな段差がある。	より分かりやすく構造化された環境を目指します。必要に応じて簡易スロープ等の設置も検討します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	46	1	0	2	・清潔で心地よく過ごさせていただけていると思う。	日々の清掃や、活動に合わせた配置を継続します。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	45	0	0	4	・子どものことを理解し、特性に応じた専門性の高い支援を受けられていて感謝しています。	より良い支援を提供できるように研鑽します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39	3	0	7	・事業所が公表しているプログラムは支援内容とあっている。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	48	0	0	1	・しっかり話を聞いてモニタリングしていただき、その時期にあった支援計画が作られていると思います。 ・子どものことを十分理解していただいた上で個別支援計画を作成されている。子どもや保護者のニーズや課題が大変よく分析されているからだと思う。	引き続き、お子さん、保護者の方のニーズに沿ったサービス計画の作成を行います。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	44	3	0	2	・計画には子どもの支援に必要な項目を設定し、具体的に子どもにあった支援内容を設定いただいている。	個別支援計画に「本人支援」「家族支援」「移行支援」を明記しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	45	1	0	3	・希望している「宿題を終える」に対して対応してくださっている。支援のあと、保護者に対してフィードバックをしてくださる時間があり、その都度課題に対応してくれて大変助かっている。	個別支援計画に沿った支援を一貫して行えるように、職員同士での連携も深めながら支援を行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	42	1	2	4	・様々な支援がされており、活動内容を考えられていて工夫が感じられます。 ・子どもの特性に合わせて。次はこうしてみようという工夫してくださっていてありがたい。 ・色々なゲームやプリントなどでアプローチしてくださっている。	一貫した支援の中でもプログラムが固定化しないよう工夫します。

	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	10	18	8	<ul style="list-style-type: none"> ・そのような機会に参加させていない。 ・個別であることを重視していますので、交流は不要と考えています。 ・毎月、季節にあったイベントを計画してくれ参加できた時には満足している。 	地域の他のお子さんとの活動に参加することが難しいお子さんがいます。機会があれば検討します。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	48	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所を利用する際に運営規定・支援プログラム・利用者負担などについてしっかり説明をいただきました。 	契約時や内容に変更があった際には都度保護者の方に説明を行います。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	49	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画をいただいた上で支援内容の説明がありました。 	新規利用時、更新時に書面で確認しながら内容をお伝えします。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29	3	2	15	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に対して家族支援プログラムを丁寧にして下さっていると思う。 	ペアレントトレーニングの実施はありませんでした。今後、より保護者支援の充実を図ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	44	1	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・60分以内15分は直接話す機会があり、子どもの健康や発達の状態について共有できていると感じる。 	毎支援後に保護者の方とお子さんのことをお話しさせていただいています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	45	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用毎に助言をいただいているような認識です。 	必要に応じて事業所内での相談の時間を設けています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	45	0	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・大変そう思う。 	今後も共感と肯定的な関わりを行います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	10	5	22	<ul style="list-style-type: none"> ・中々参加もできていませんが、いろいろなイベント等計画されていてありがたいです。 ・知らないだけかもしれないが、父母の会の活動や兄弟同士の交流イベントはないように思う。 ・きょうだい向けのイベントがあったのかが分からない。 	定期的な保護者会の活動はできていませんでした。今後、開催を検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	40	1	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しい中相談にのっていただき、日頃より感謝しています。 	ご相談があれば都度応じています。相談しやすい環境設定や、体制の周知を行っています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	45	1	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・送りの時やLINE、フィードバックの時間などにコミュニケーションがとれやすく、意思疎通や情報伝達のための配慮いただいていると思います。 	LINEでの情報伝達を実施しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	35	0	3	7	<ul style="list-style-type: none"> ・行事予定がある際に玄関や個別のブースに掲示しており、LINEでもおしらせしてくれている。 	LINEでの情報伝達を実施しています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	46	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取扱いに十分に留意して管理してくださっている。 	個人情報に係る書類は鍵付きの書庫に保管しています。	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33	4	0	12	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時・感染マニュアルは徹底されていると思う。 ・緊急時の避難先がどこか、医療受診が必要な場合の医療機関の説明があった。 	マニュアルの作成をしています。今後は利用者の方にも目につきやすくする工夫を行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	1	2	17	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所で訓練が行われている。 	定期的に行っています。今後は利用者の方にも目につきやすくする工夫を行います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40	2	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・安全の確保が十分に行われた上でこどもに対して支援を行っていると感じる。 	安全計画の作成をしています。今後は利用者の方にも目につきやすくする工夫を行います。

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	39	0	0	10	・その場合は速やかな連絡や自己が発生した際のじょうきょうについて説明がされると思う。	事故等が発生した際には速やかな連絡が取れるように緊急連絡先をお伺いしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	48	1	0	0	・個別支援でこどもに寄り添って対応し てください、安心できていると思 います。 ・とても楽しんで通っております。 ・慣れてからは安心して通えているよ うです。 ・安心して通所できている。大切な居場 所となっている。	引き続き、お子さんが安心して通所でき るように職員全員で対応します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	37	9	0	3	・授業を受ける事を楽しみに通ってい ます。 ・下校後疲れていてもきりりは楽しいか ら行けると言っています。 ・楽しみにしている。	お子さん全員に楽しみに通所していただ けるように、工夫して対応します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	44	3	0	2	・こどもの話をよく聞いてくださり、そ の日の状態に合わせたの支援ありがとう ございます。とても満足しています。 ・その日の体調や疲れ具合によってすぐ に活動内容を変更してもらったりでき て助かっています。 ・大変満足しています。今後ともよろし くお願いします。	利用者の皆さんに満足していただける支 援を提供できるよう、職員全員で対応し ていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」新潟西校				公表日	2025年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		法令を遵守したスペースの確保をしています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		法令が必要とされている人員配置はしています。	職員が休みを取りづらい等の課題があるため、余裕のある職員体制になるとよいと感じます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		支援スペースはパーテーションで区切ることで、分かりやすくなっています。	玄関に段差があり、車いすや松葉杖をついての利用は難しい面があります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清掃を実施しています。必要に応じ、支援教材等の消毒も実施しています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		必要に応じてパーテーションを移動させて個別での対応は可能となっています。	完全な個室ではないため、音の遮断は難しいです。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に1回実施しています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		個々の業務内容を都度確認しながら取り組んでいます。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	職員と利用者の二者評価を行っています。	必要に応じて実施の検討をします。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		法人内で定期的に事例検討会を実施しています。必要に応じて、外部研修への参加も行っています。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>		公表に向けて準備中です。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントシートを利用し、1年に1回以上アセスメントを実施しています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画の原案をもとに職員で話し合いを実施し、計画内容を検討しています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画の内容を職員間で共有し、計画に沿った支援を実施しています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		法人内で統一したアセスメントシートを使用しています。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の項目ごとに目標設定を行っています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて職員間で話し合いながら活動プログラムを立案しています。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員間で話し合いながら、活動内容がマンネリ化しないように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		必要に応じて、利用者さんへ不定期開催の小集団療育への参加を促しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼を実施し確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼を実施し確認を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援後3日以内の支援記録の作成を心掛けています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1度のモニタリングを実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		支援目標を複数設定して対応しています。	ガイドラインの認識を職員全員が高められると良いと思われます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		お子さんに合わせて意思表示を促しながら、自己決定ができるように支援を行っています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者参画することが多いです。	児童発達管理責任者のみならず、指導員も参画することができるように職員体制が整うと良いと感じます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		毎月、利用者さんの様子を相談支援事業所にお伝えしています。	必要に応じて、医療、保育、教育との連携も深めていけるとよいと感じます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて学校も含めた担当者会議への参画があります。	不十分な点もあるため、情報共有を密に取れると良いと思われます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて、支援情報提供書を作成しています。	不十分な点もあるため、情報共有を密に取れると良いと思われます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		該当者がいませんでした。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターが実施する研修に参加しました。	児童発達支援センターが実施する研修へ参加できる職員数が増えるように職員体制が整うとよいと感じます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		交流の機会は設けていません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎支援後に保護者の方とお子さんの様子を共有する時間を設けています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		支援後のフィードバックや、必要に応じて保護者からのご相談に応じています。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		可能な範囲でお子さんにも意思確認を行いながら、保護者にもお話を伺いしてから作成を行っています。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者へ丁寧に説明を行い、同意をいただいています。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて、相談援助を実施しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		今年度は2回、保護者会を実施しました。	今後も必要に応じて開催を検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付担当者と責任者を設置し、契約時にお伝えしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		教室内に活動の様子を掲示しています。また、Instagramの活用もしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の記載された書類は鍵付きの書庫に保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		言語以外でのコミュニケーションを図ったり、視覚化するなどの工夫を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	○	小集団イベントの際に、外部のボランティアの方に参加をお願いしました。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルの策定と研修・訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの策定を行い、月1回の訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		フェイスシートに記載の欄があり確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供をしていません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、職員間で共有しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急連絡先をお伺いし、災害時の避難先もお伝えしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが起きた際には報告書を作成し、職員全員で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修に参加しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		個別支援計画に記載があります。保護者へは契約時に説明も行っています。		